



浜田林業部トピックス(12月号)



TOPICS 1

浜田商業高校が林業学習を実施

12月13日(水)、浜田商業高校の1年生2クラス75名を対象に林業学習を実施しました。島根県では、県内の高校生を対象に就業先の選択肢の一つとして林業に関心を持ってもらうため、このような取り組みを行っています。

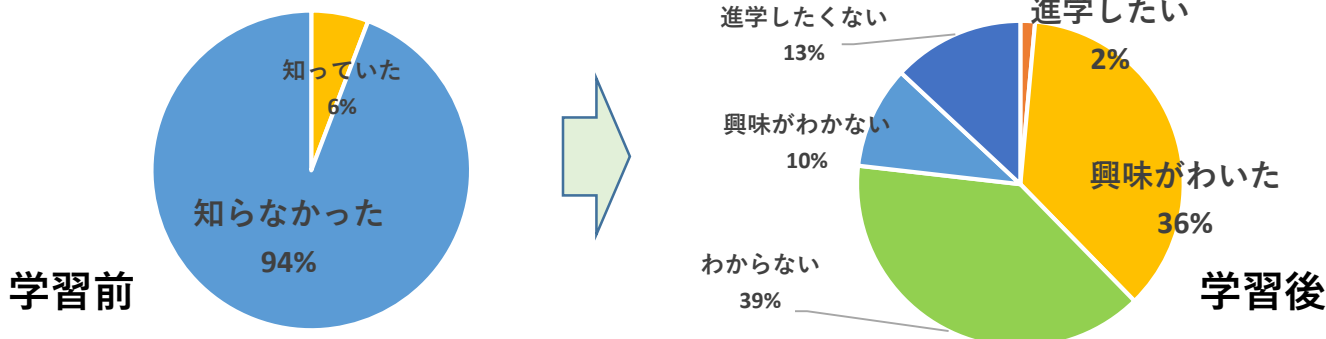
今回の学習では、はじめに、教室で島根県の林業や農林大学校林業科の概要について講義を行った後、体育館に移動してクラスごとに4班に分かれて、VRチェンソー※など、ICTに関連した林業体験活動を行っていただきました。

体育館での体験活動では、1班の生徒がレーザー計測機やドローンなど、林業におけるICT機器の活用について説明を受けました。2～4班の生徒は専用ゴーグルを使い、仮想空間の中で立木の伐倒作業を体験をしました。生徒の参加人数が多かったこともあり、林業学習の実施にあたっては、石央森林組合、島根県林業労働力確保支援センター、江の川下流域林業活性化センターに協力していただきました。

参加した生徒からは「林業について知れて良かった」、「就職の進路(を考えるの)に役立った」、「VR体験が楽しかった」などの感想がありました。

※VRチェンソー：専用ゴーグルを使用して仮想空間の中で立木の伐採作業などが体験できる機器。VRはヴァーチャル・リアリティ(仮想現実)の略。

〔島根県農林大学校林業科って?〕 浜田商業高校生徒75名にアンケート(回答者69名、回収率92%)



講義の様子



VRチェンソー体験

12月21日（木）に浜田労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会浜田地区協議会と労働災害防止に関する合同の安全パトロールを実施しました。

合同安全パトロールは、例年、気象条件・作業条件が悪化する冬季に、林業及び木材製造業の現場における作業状況や安全対策等を点検するとともに、現場作業員等に対して安全作業の徹底を訴えることを目的に実施しています。

今回のパトロールでは、浜田市内の伐倒作業現場でチルホールの使用方法や伐倒時の合図等を確認したほか、江津市内の森林整備の現場で、クマ対策やケガが発生した際の連絡体制等を確認しました。

また、江津市内の製材工場では、工場内の整理・整頓状況や加工機の安全装置の状況等を確認しました。

労働災害を発生させないため、今後も関係機関と連携し、労働安全に取り組んでいきます。

〔安全パトロールの実施状況〕



パトロール参加者打合せ状況



枝打ち作業を確認



伐倒作業を確認



加工機を確認